

DEVICE AND METHOD FOR INFORMATION PROCESSING AND RECORDING MEDIUM

Publication number: JP11341254

Publication date: 1999-12-10

Inventor: KYOGOKU HIROSHI; SASAKI TAKU; SHIRAIWA KEISHIN; TAKAHASHI KENJI; HIRAI SHINYA

Applicant: CANON KK

Classification:

- international: **H04N1/387; G06T1/00; G06T3/00; H04N1/387; G06T1/00; G06T3/00; (IPC1-7): H04N1/387; G06T1/00**

- European:

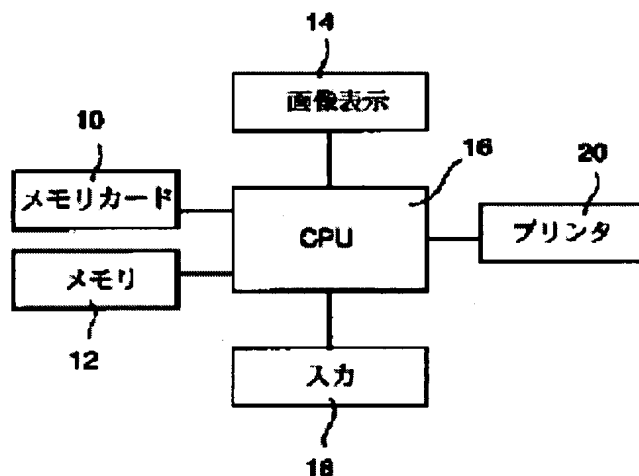
Application number: JP19980143847 19980526

Priority number(s): JP19980143847 19980526

Report a data error here

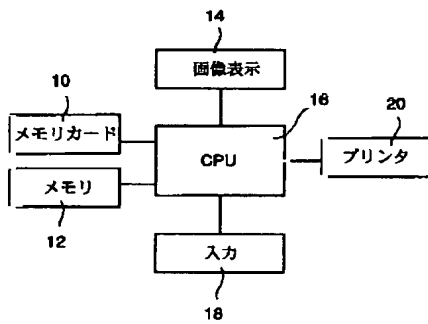
Abstract of JP11341254

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable a desired synthesis result to be obtained in a short time. **SOLUTION:** A memory card 10 has a picture such as a figure or a landscape photographed by a digital steel camera or the like. A memory 12 stores many illustrations, pictures and sentences which are to be synthesized into a picture selected from a recorded picture of the memory card 10. A synthesis object is selected from either the memory card 10 or the memory 12 (for example, the memory card 10). Regarding the selected information, it is synthesized by each of all the information to be stored in the other (for instance, the memory 12) and with a low resolution and the result is list-displayed. A user selects what is needed from the list. A CPU 16 synthesizes a picture of a source for the selected synthesis result, the illustration or the like by their original picture quality and outputs to either a picture display device 14 and /or a printer 20.

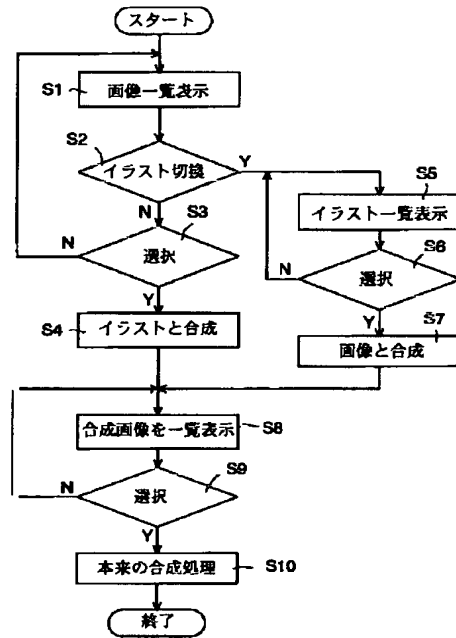


Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

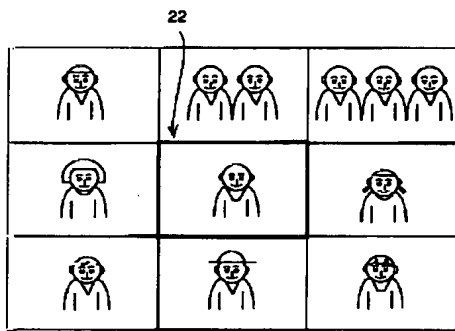
【図1】



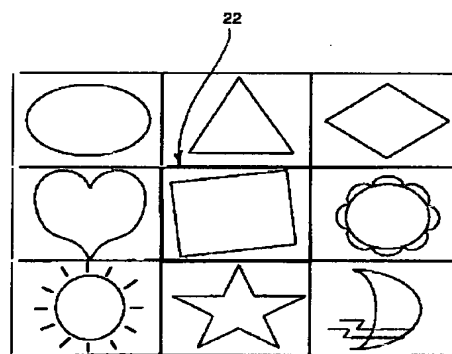
【図2】



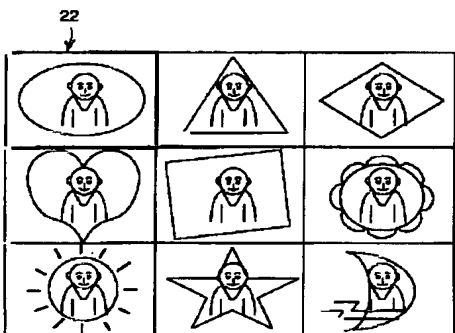
【図3】



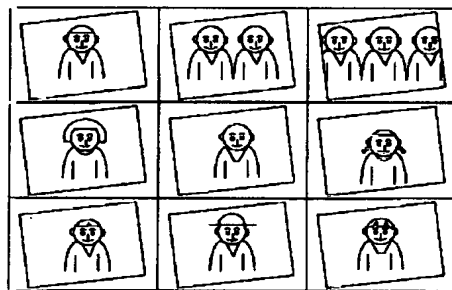
【図4】



【図5】



【図6】



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-341254

(43) 公開日 平成11年(1999)12月10日

(51) Int.Cl.⁶

H 0 4 N 1/387

G 0 6 T 1/00

識別記号

F I

H 0 4 N 1/387

C 0 6 F 15/66

4 0 0

審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平10-143847

(22) 出願日 平成10年(1998) 5 月26日

(71) 出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72) 発明者 京極 浩

東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤノン株式会社内

(72) 発明者 佐々木 卓

東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤノン株式会社内

(72) 発明者 白岩 敬信

東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤノン株式会社内

(74) 代理人 弁理士 田中 常雄

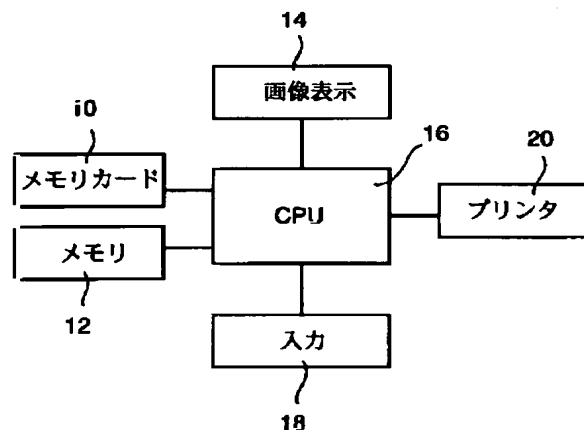
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 情報処理装置及び方法並びに記憶媒体

(57) 【要約】

【課題】 所望の合成結果を早期に得られるようにする。

【解決手段】 メモリ・カード10には、デジタル・スチル・カメラなどで撮影された人物及び風景などの画像が記録されている。メモリ12には、メモリ・カード10の記録画像から選択した画像に合成したい多数のイラスト、写真及び文章などの情報が格納されている。メモリ・カード10及びメモリ12の一方(例えば、メモリ・カード10)から合成対象を1つ選択する。選択された情報に対し、他方(例えば、メモリ12)に記憶される全情報のそれぞれと、低解像度で合成し、結果を一覧表示する。ユーザは、一覧の中から所望のものを選択する。CPU16は、選択された合成結果のソースとなる画像とイラストなどを本来の画質で合成し、画像表示装置14及び/又はプリンタ20に出力する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の情報からなる第1の情報群を記憶する第1の記憶手段と、

複数の情報からなる第2の情報群を記憶する第2の記憶手段と、

当該第1の情報群から合成対象の1つの情報を選択する選択手段と、

当該選択手段により選択された情報と当該第2の情報群の各情報を合成して一覧表示する合成表示手段と、

当該合成表示手段により表示される一覧中から所望の合成結果を選択する合成結果選択手段と、とを具備することを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】 更に、当該合成結果選択手段により選択された合成結果のソースとなる当該第1の情報群の情報及び当該第2の情報群の情報を、本来の品質で合成処理する合成手段を具備する請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】 更に、2つの情報群の内、当該第1の情報群となる情報群を指定する指定手段を具備する請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項4】 当該第1及び第2の情報群の少なくとも一方の情報が画像であり、他方の情報群の情報がイラスト及び文字画像を含む情報である請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項5】 それぞれ複数の情報を含む第1及び第2の情報群からそれぞれ選択される情報を合成処理する情報処理方法であって、

当該第1の情報群及び当該第2の情報群の一方から合成対象となる1つの情報を選択する選択ステップと、

当該選択ステップにより選択された情報と当該第1の情報群及び及び第2の情報群の他方に含まれる各情報を合成して一覧表示する合成表示ステップと、

当該合成表示ステップにより表示される一覧中から所望の合成結果を選択する合成結果選択ステップとを具備することを特徴とする情報処理方法。

【請求項6】 更に、当該合成結果選択ステップにより選択された合成結果のソースとなる当該第1の情報群の情報及び当該第2の情報群の情報を、本来の品質で合成処理する合成ステップを具備する請求項5に記載の情報処理方法。

【請求項7】 当該第1及び第2の情報群の少なくとも一方の情報が画像であり、他方の情報群の情報がイラスト及び文字画像を含む情報である請求項5に記載の情報処理方法。

【請求項8】 それぞれ複数の情報を含む第1及び第2の情報群からそれぞれ選択される情報を合成処理する情報処理方法を実行するプログラム・ソフトウェアを外部読み出し自在に記憶する記憶媒体であって、当該情報処理方法が、
当該第1の情報群及び当該第2の情報群の一方から合成

対象となる1つの情報を選択する選択ステップと、
当該選択ステップにより選択された情報と当該第1の情報群及び及び第2の情報群の他方に含まれる各情報を合成して一覧表示する合成表示ステップと、

当該合成表示ステップにより表示される一覧中から所望の合成結果を選択する合成結果選択ステップとを具備することを特徴とする記憶媒体。

【請求項9】 当該情報処理方法が更に、当該合成結果選択ステップにより選択された合成結果のソースとなる当該第1の情報群の情報及び当該第2の情報群の情報を、本来の品質で合成処理する合成ステップを具備する請求項8に記載の記憶媒体。

【請求項10】 当該第1及び第2の情報群の少なくとも一方の情報が画像であり、他方の情報群の情報がイラスト及び文字画像を含む情報である請求項8に記載の記憶媒体。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、2つの情報を合成処理する情報処理装置及び方法並びに記憶媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】予め用意されたイラスト、画像又は文章に画像を嵌め込み合成する装置又はソフトウェアでは、従来、合成後の結果は、実際に合成処理を実行してみなければわからなかった。即ち、合成結果が気に入らなければ、合成に使用する画像等を再度、選択し直し、合成を再度実行することになる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】このように、従来は、合成を実行してみなければ、合成結果を知ることができないので、試行錯誤を重ねることになり、非常に面倒である。

【0004】本発明は、合成の候補となる情報の選択時に合成結果の概要を確認できる情報処理装置及び方法並びに記憶媒体を提示することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明に係る情報処理装置は、複数の情報からなる第1の情報群を記憶する第1の記憶手段と、複数の情報からなる第2の情報群を記憶する第2の記憶手段と、当該第1の情報群から合成対象の1つの情報を選択する選択手段と、当該選択手段により選択された情報と当該第2の情報群の各情報を合成して一覧表示する合成表示手段と、当該合成表示手段により表示される一覧中から所望の合成結果を選択する合成結果選択手段ととを具備することを特徴とする。

【0006】本発明に係る情報処理方法は、それぞれ複数の情報を含む第1及び第2の情報群からそれぞれ選択される情報を合成処理する情報処理方法であって、当該第1の情報群及び当該第2の情報群の一方から合成対象

となる1つの情報を選択する選択ステップと、当該選択ステップにより選択された情報と当該第1の情報群及び及び第2の情報群の他方に含まれる各情報を合成して一覧表示する合成表示ステップと、当該合成表示ステップにより表示される一覧中から所望の合成結果を選択する合成結果選択ステップとを具備することを特徴とする。

【0007】本発明に係る記憶媒体には、上述の情報処理方法を実行するプログラム・ソフトウェアが、外部読み出し自在に格納される。

【0008】

【実施例】以下、図面を参照して、本発明の実施例を詳細に説明する。

【0009】図1は、本発明の一実施例の概略構成ブロック図を示す。10は、デジタル・スチル・カメラなどで撮影された人物及び風景などの画像が記録されたメモリ・カード、12はメモリ・カード10の記録画像から選択した画像に合成したい多数のイラスト、写真及び文章などの情報を予め格納したメモリである。メモリは、ROM、フロッピー、CD-ROM及びハードディスク装置などからなる。

【0010】14はCRT及び液晶表示パネルなどの画像表示装置、16は合成処理を実行するCPUであり、マイクロコンピュータからなる。18はキーボード及びマウスなどからなり、CPU16へユーザが種々の指示を入力するのに使用する入力装置、20はプリンタである。

【0011】図2は、本実施例の動作フローチャートを示す。図3は、メモリ・カード10に記録されている画像の一覧を示し、図4は、メモリ12に記録されているイラストの一覧を示す。図2、図3及び図4を参照して、本実施例の動作を説明する。

【0012】メモリ・カード10が接続されると、CPU16は、メモリ・カード10に記録されている画像の縮小された画像、所謂サムネイル画像を、図3に示すように画像表示装置14の画面に一覧表示する(S1)。図3では、9つの画像を同時に表示しているが、勿論、これ以上の画像又はこれ以下の画像を同時に表示しても良い。この段階で、入力装置18の所定の操作で、内蔵メモリ12に記録されている画像の一覧表示に切り換えることができる(S2)。

【0013】図3に示すような一覧画像から合成対象となる1つの画像を選択できる(S3)。図3では、中央の画像を選択している。本実施例では、選択しようとする画像は、その周囲に矩形状のカーソル22が表示される。入力装置18によりこのカーソル22を移動させることで、所望の画像を選択できる。

【0014】合成対象となる画像が選択されると(S3)、CPU16は、選択された画像とメモリ12に記憶される各イラストとを、縮小画像の状態で合成処理し(S4)、一覧表示する(S8)。その一覧表示例を図

5に示す。この一覧でも、同時に9つの合成結果が表示されるが、スクロール又は画面の切換えにより別の9つの合成結果を表示させることができる。メモリ12に格納されるイラストの数だけの合成処理を行なうことになるが、小さい画像(低解像度の画像)の状態で合成を行なうので、短時間に合成結果を表示できる。

【0015】ユーザは、合成画像の一覧から所望の合成結果を選択できる(S9)。図5に例示したように、カーソル22を所望の合成結果の画像に移動させ、所定の操作で選択する。この結果、メモリ・カード10と内蔵メモリ12からそれぞれ1つの画像が、合成対象として選択される。

【0016】選択された2つの画像を本来の画質で合成処理する(S10)。合成結果は、確認用に画像表示装置14の画面に表示され、必要により、プリンタ20からプリントアウトされる。

【0017】イラストを先に選択したい場合には、先に説明したように、撮影画像の一覧が表示されているときに、ユーザはイラストの選択をCPU16に指示すればよい(S2)。これに応じて、CPU16はメモリ12に記憶されているイラストの一覧を図4に示すように表示し(S5)、ユーザは、カーソル22を移動させて、表示されている一覧から所望の1つのイラストを選択できる(S6)。図4では、中央のイラストが選択されている。

【0018】1つのイラストが選択されると、CPU16は、メモリ・カード10に記憶される各画像に選択されたイラストを適用して合成し(S7)、合成結果を画像表示装置14の画面上に例えば、図6に示すように一覧として表示する(S8)。メモリ・カード10に記憶される画像の数に相当する回数の合成処理を実行することになるが、このときの合成処理は、小さい画像(低解像度の画像)の状態で行なわれるので、短時間に終了する。

【0019】ユーザは、合成画像の一覧から所望の合成結果を選択できる(S9)。カーソル22を所望の合成結果の画像に移動させ、所定の操作で選択する。この結果、メモリ・カード10と内蔵メモリ12からそれぞれ1つの画像が、合成対象として選択される。選択された2つの画像を本来の画質で合成処理する(S10)。合成結果は、確認用に画像表示装置14の画面に表示され、必要により、プリンタ20からプリントアウトされる。

【0020】図示例では、閉鎖曲線内を透過状態にしたイラストをメモリ・カード10の画像に重ねるようにしているが、一部に空白処理を施した画像、若しくは、「暑中見舞い」、「明けましておめでとうございます」及び「誕生日記念」の様に文章を表示する画像であってもよいことはいうまでもない。

【0021】上記実施例では、2つの画像群の一方から

選択された画像に対して、他方の画像群の全画像と合成しているが、他方の画像群の選択された1又は複数の画像と個別に合成しても良い。合成結果を相互に比較できるので、目的とする最良の合成結果を得るのが容易になる。

【0022】上記実施例のように合成結果を記録紙上にプリントアウトする場合、シール紙を使用しても良い。勿論、合成結果を多数、1つのシール紙上に印刷してもよい。

【0023】本発明は、複数の機器（例えばホストコンピュータ、インタフェース機器、リーダ及びプリンタ等）から構成されるシステムに適用しても、一つの機器（例えば複写機及びファクシミリ装置）からなる装置に適用してもよい。

【0024】また、上述した実施例の機能を実現するように各種のデバイスを動作させるべく当該各種デバイスと接続された装置又はシステム内のコンピュータに、上記実施例の機能を実現するためのソフトウェアのプログラムコードを供給し、その装置又はシステムのコンピュータ（CPU又はMPU）を、格納されたプログラムに従って前記各種デバイスを動作させることによって実施したものも、本願発明の範囲に含まれる。

【0025】この場合、前記ソフトウェアのプログラムコード自体が、前述した実施例の機能を実現することになり、そのプログラムコード自体、及びそのプログラムコードをコンピュータに供給するための手段、例えば、かかるプログラムコードを格納した記憶媒体は、本発明を構成する。かかるプログラムコードを格納する記憶媒体としては、例えば、フロッピーディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、CD-ROM、磁気テープ、不揮発性のメモリカード及びROM等を用いることが出来る。

【0026】また、コンピュータが供給されたプログラムコードを実行することにより、前述の実施例の機能が実現されるだけでなく、そのプログラムコードがコンピュータにおいて稼働しているOS（オペレーティングシステム）又は他のアプリケーションソフトウェア等と共同して上述の実施例の機能が実現される場合にも、か

かるプログラムコードが本出願に係る発明の実施例に含まれることは言うまでもない。

【0027】更には、供給されたプログラムコードが、コンピュータの機能拡張ボード又はコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わるメモリに格納された後、そのプログラムコードの指示に基づいて、その機能拡張ボード又は機能拡張ユニットに備わるCPU等が実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって上述した実施例の機能が実現される場合も、本出願に係る発明に含まれることは言うまでもない。

【0028】

【発明の効果】以上の説明から容易に理解できるように、本発明によれば、一方の情報群の情報については1つを特定せずに、合成結果の概略を予め確認できるので、試行錯誤の手間が軽減され、所望の合成結果を得やすくなる。確認用の事前の合成処理を低品質、例えば低解像度で行なうことにより、合成結果の概略を早期に知ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施例の概略構成ブロック図である。

【図2】 本実施例の動作フローチャートである。

【図3】 メモリ・カード10に記憶される画像の一覧表示例である。

【図4】 イラスト画像の一覧表示例である。

【図5】 選択した撮影画像を、多数のイラストのそれぞれと合成した結果の一覧である。

【図6】 選択したイラストを、多数の撮影画像のそれぞれと合成した結果の一覧である。

【符号の説明】

10：メモリ・カード

12：メモリ

14：画像表示装置

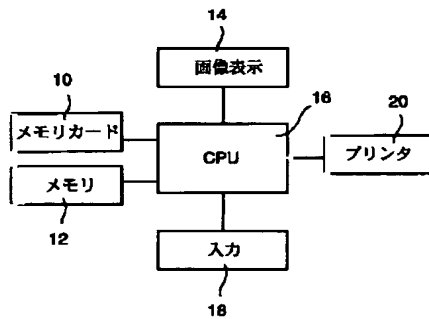
16：CPU

18：入力装置

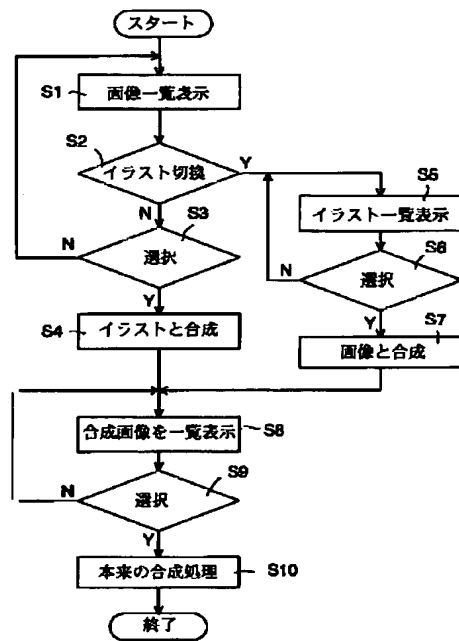
20：プリンタ

22：カーソル

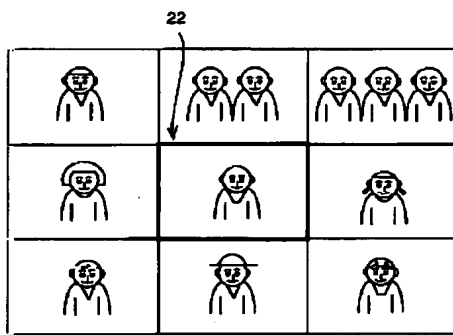
【図1】



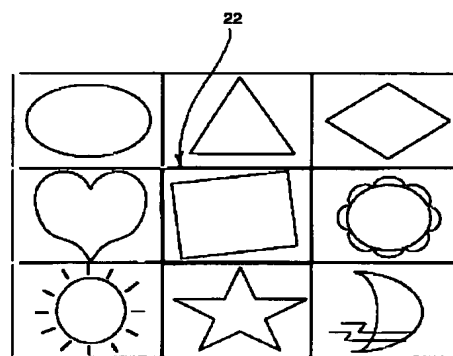
【図2】



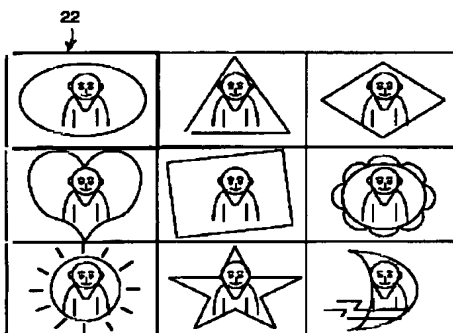
【図3】



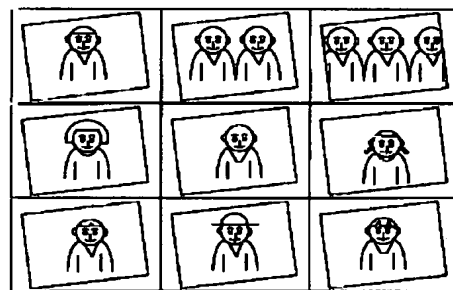
【図4】



【図5】



【図6】



フロントページの続き

(72)発明者 高橋 賢司
東京都大田区下丸子 3 丁目 30 番 2 号キャノ
ン株式会社内

(72)発明者 平井 信也
東京都大田区下丸子 3 丁目 30 番 2 号キャノ
ン株式会社内